

# 地歴公民 (世界史B) 九州大学 文学部

## <全体分析>

試験時間 90 分

### 解答形式

大論述が1問 (550字) , その他の論述が2問 (130字・170字) , 単語記述問題が25問

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

### 出題の特徴や昨年との変更点

大問〔1〕では、文字数が500字から550字に増加。〔2〕小論述は120字・60字・130字から130字・170字に変更。

その他トピックス

## <大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔1〕	論述 (550字) (30点)	15世紀から20世紀にかけての絵画史の変遷	絵画史の変遷を政治・社会背景に言及するのが題意。	難
〔2〕	記述・論述 (130字・170字) 単答形式・記述 (7問)・単答 形式・記号(2 問) (40点)	古代から現代にかけてのユダヤ人	3つの資料を使つての問題で、単答問題は、古代から現代に関する問題。小論述2題は、現代史(戦後史)を扱っている。	やや難
〔3〕	記述 単答形式(14 問)・記号(2問) (30点)	人類の戦争の歴史に関する問題	古代から現代にかけての単答問題	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

単答形式の問題は古代から現代まで出題されているので、教科書などを使って、全範囲の学習が必要である。また、小論述は戦後史が出されたので、現代史もしっかり学習したい。大論述では、絵画の変遷という文化史が出題された。政治史だけではなく、文化史の対策も行わなければならない。